

# 東京版金融プロモーション組織の設計

Jonathan B. Kindred 一般社団法人 国際銀行協会 会長  
有友 圭一 一般社団法人 国際資産運用センター推進機構 理事

2017年10月13日

## 背景と解くべき課題

- 国際金融都市・東京のあり方懇談会は、2016年11月以降これまで7回にわたって開催。
  - 同懇談会を通じて、東京を国際金融都市として活性化するための多くの施策が提案された。
  - 大半の施策については、今後具体化・推進するにあたり民と官(例:東京都・金融庁)との緊密かつ継続的な連携が必要となる。
  - 懇談会第6回において、海外主要都市における金融プロモーション機能(例: TheCityUK, Paris Europlace, Frankfurt Main Financeなど)を参考とし、東京版金融プロモーション組織の設立が提言されている。
  - 当該金融プロモーション組織の役割・機能等は、今後の検討事項となる。
- 懇談会で提案された施策をどのように具体化し、推進するか?
  - 主要施策のうち、どの範囲までを東京版金融プロモーション組織が引き継ぐか?
  - 東京版金融プロモーション組織をどのように設計し、設立するか?

# プロモーション組織の主要な目標

懇談会第6回資料  
より抜粋

## マーケティング:

情報提供、マーケティング、内外からの疑問に回答

## 検証:

金融サービスの各種プロモーション活動が、政府・都民を含め主要なステークホルダーの期待に合致することの確認

## 促進:

適切なビジネス環境の整備

## インキュベーション:

新しい金融商品や事業の育成を促すエコシステムを推進

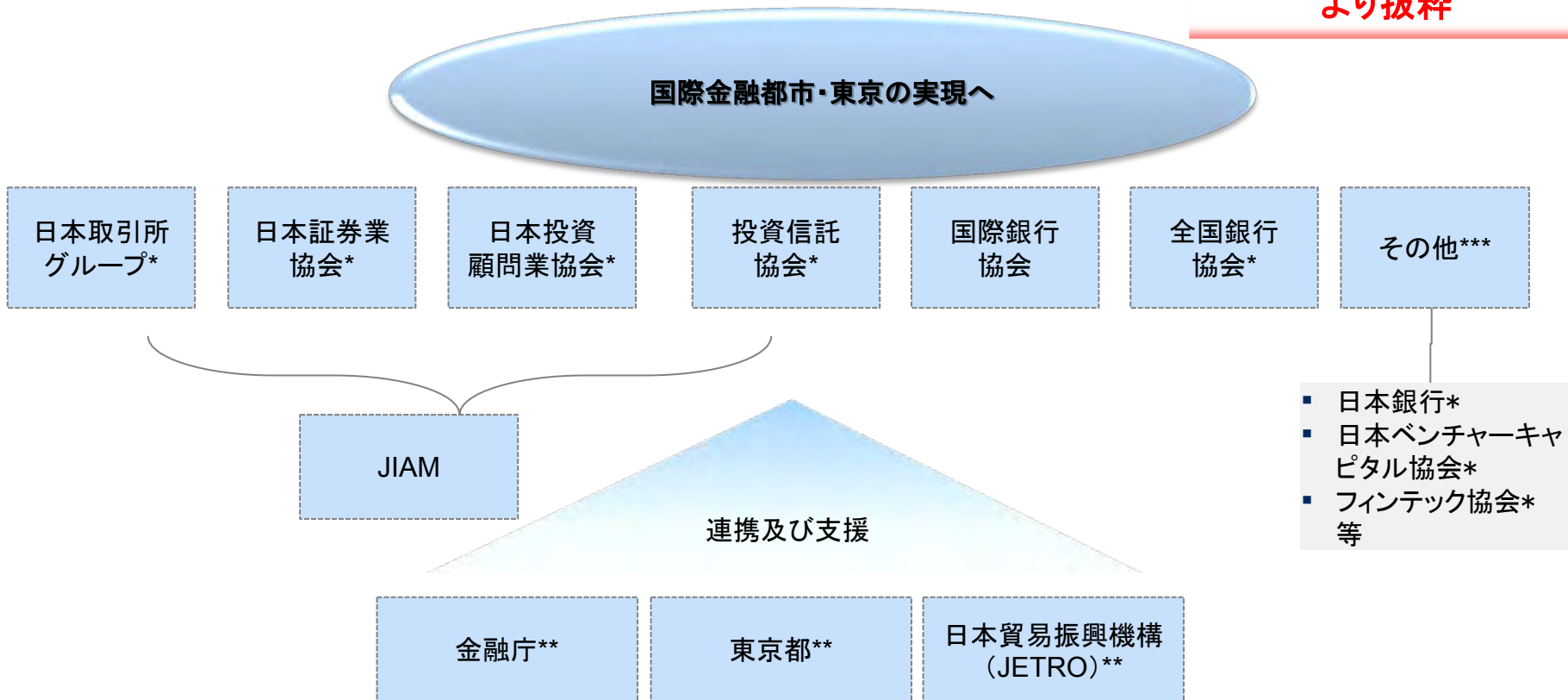
## 提言・主張(アドボカシー):

ビジネス環境改善のための規制改革

国際金融都市・東京を  
実現させるための  
起爆剤として機能

# プロモーション組織の設立

懇談会第6回資料  
より抜粋



\*組織的な賛同を確認中。

\*\*賛同の形式は今後決定予定。

\*\*\*東京が主要な金融都市として成長を遂げる過程で、他の業界団体の参加も必要となる

# 東京版金融プロモーション組織のスコープ

✓ 主担当, ✓ 副担当

区分	施策案	主体		
		民間金融 セクター	東京都	中央官庁
A 成長を底支える インフラの整備	税負担軽減に向けた見直し		✓	✓
	行政手続きの英語対応や相談体制整備		✓	✓
	高度外国人材生活環境の向上	✓	✓	✓
B 金融サービス・ 資産運用プレイヤー の誘致・育成	官民一体となった海外プロモーション活動等による 海外金融系企業の誘致	✓	✓	✓
	東京金融賞の創設	✓	✓	✓
	資産運用業者の育成（EMP等）	✓	✓	✓
	高度金融専門人材等の育成	✓	✓	✓
C 成長分野への 投資促進	フィンテックなど革新的なビジネスの開発促進	✓	✓	✓
	イノベーション活性化に向けた環境づくり （エコシステム、レギュラトリー・サンドボックスなど）	✓	✓	✓
D 国民（都民）・投資家 の啓発	金融教育等の充実	✓	✓	✓
	フィデューシャリーデューティーや コーポレートガバナンス・コードの徹底、ESG投資の推進	✓	✓	✓

いくつかの施策については、東京版金融プロモーション組織が受け皿となることが可能

# 東京版金融プロモーション組織設立に向けてのステップ

- 担うべき機能・施策の定義
- ガバナンス体制の設計
- 業務執行体制の設計
- リーダーシップの選定
- 運営費用の予算化とコスト負担スキームの確認

# 東京版金融プロモーション組織の設計



# 意見交換